

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、連携医院との協力体制はできているが、近隣世帯・消防団等地域との協力体制作りができていない。	近隣世帯の方々との協力体制を得られる関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> ・区長、近隣世帯へ文書を作成し、協力を呼びかける。 ・開所日、年末など年に2回程、入居者と一緒に近隣世帯を訪問し、交流を深める。 	12ヶ月
2	35	火災以外の災害について想定したマニュアルは作成しているが、定期的な確認が出来ていない。	全ての職員が確実に理解し対応できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、定期的にマニュアル及び災害時備品等の点検・確認を行う。 	12ヶ月
3	34	急変時の対応や高齢者の疾病についての研修会の機会が少なく不安がある。	全てのスタッフが入居者の病歴を把握し、急変時の対応がスムーズに行えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの疾病や病状の把握(各ユニット、ミーティング時一人ずつ、また変化時) ・急変時の対応方法について年に1~2回、全体ミーティングにて勉強会を行う。 	12ヶ月
4	36	想定外の汚染時等、適正な言葉かけや対応ができていない時がある。	基本理念である敬う気持ちを忘れず、さりげなく速やかな対応ができるよう介助の工夫を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合った声かけ・対応方法の検討。 ・スタッフ間でお互いに意識し、注意する。 	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。